

学部の巳波弘佳教授らが務めた。

参加者は「もっと好きになる わたしたちのまち」をテーマに制作したゲームなどを披露、それぞれプログラミングで工夫した点などについて発表した。審査の結果、同じプログラミング教室に通う播磨町立播磨小6年・林創太郎君(12)、ペアで参加した同・城尾悠生君(11)と同・中村琉聖君(12)の3人が優勝を分け合った。

今後、3人は巳波教授らのサポートを受け、互いの作品を融合させてブラッシュアップし、来年3月、東京で開催される予定の全国大会に兵庫代表として出場する。

全国小学生プログラミング大会兵庫大会

優勝は播磨小6年の3人

小学生が独自の発想に基づいたプログラムで制作した作品を競う「全国選抜小学生プログラミング大会兵庫県大会」(神戸新聞社主催、関西学院大共催)がこ

のほど、ビデオ会議アプリを使ったオンラインで開催された。

本年度から小学校でプログラミングが必修となったことを受け、初めて開催

審査員は、関西学院大理工